

利用制度・情報提供の概要

資料6
NanoTerasu（次世代放射
光施設）の利活用の在り方に
関する有識者会議(第3回)
令和4年10月21日

各施設提供資料より、文科省作成

		SPring-8 (理研+JASRI)	NanoTerasu (QST+登録機関)	NanoTerasu (PhoSIC)
利用資格				● 加入金を出資した会員 ● 出資口数等に応じた会員種別あり（プラチナ、ゴールド、一般）
事前相談		● 利用者から登録機関へ事前相談 ● 現地及びオンライン講習会の実施 ● 初回利用者向けのWEB窓口設置 ● 分野専門の相談員等による産業利用相談 ● 測定代行等ライトニーズへの対応検討	● 検討中（※詳細は登録機関と要協議）	● 利用の仕組み・手続き相談 ● 専門的な研究相談（パートナーマッチング） ● BL利用相談
利用制度	成果非占有	● 通常利用 ● 緊急・特別利用 ● 大学院生利用 ● 優先利用（有償オプション）	● 一般課題	
	成果占有（有償）	● 通常利用 ● 時期指定利用・測定代行利用	● 成果占有課題	● 基本利用（無償の利用支援あり） ● アドバンスト利用（追加料金あり） ● メールイン・代行測定(追加料金あり) ※詳細については検討中
利用料金		● 成果非専有：消耗品実費負担のみ ● 成果占有：480千円/8時間 ● 成果非専有（優先利用）：131千円/8時間 ※別途、消耗品実費負担あり	● 一般課題：消耗品実費負担のみ ● 成果占有：消耗品実費負担＋ビーム使用料	● 加入金 5000万円（1口） ● 利用料金 3.5万円/時（22年度加入の場合） ● その他オプションを検討中
課題申請		● ユーザーニーズを踏まえ、課題募集を年2回から年6回へ増加し、更に1時間単位での随時利用枠を追加 ● 課題申請を全てオンラインで実施	● 年2回（状況を見ながら検討・追加）	BL予約方法は以下のとおり（中間報告） ● 毎月利用申請が可能 ● 一か月前までは全メンバー予約確定（一次募集） ● プラチナ会員、特約ゴールド会員は優先的に7日前まで予約可(二次募集) ● 空枠があれば全会員が2日前までに予約可（三次募集）
課題審査		● 利用開始5か月前に課題審査を行い、その後選定委員会において決定 ● 利用開始1.5か月前に登録機関より採否通知 ※年2回公募の場合の平均的な期間	● 検討中（※詳細は登録機関と要協議）	
実験実施		● 登録機関による利用支援 ● 施設利用時の技術指導支援 ● ユーザーニーズを反映するためのユーザー満足度アンケートの実施 ● 人材確保・育成に力を入れスタッフの技術力・研究力を強化	● 登録機関による利用支援	● PhoSIC スタッフによる利用支援として測定の基本指導を実施 ● 学術パートナーとの戦略的連携 ● メールイン、測定代行サービスは有償（詳細は検討中）
データ分析・結果の解釈		● 利用者が独自に実施するが、相談には適宜対応	● 利用者が独自に実施	● データ処理、解析については利用支援として基本指導を実施 ● アドバンストは解析等有料サービスを実施（検討中）
成果公開方法（成果非占有）		● 利用者が実験後2か月以内に実験報告書を提出 ● 利用者が実験後36か月以内に論文出版（※延長あり）	● 検討中（※詳細は登録機関と要協議）	
利用料金支払い（成果占有）		● 請求書受領後2か月以内に登録機関に支払い	● 検討中（※詳細は登録機関と要協議）	● 利用後に会員へ請求（詳細検討中）
改定の予定		● ユーザーニーズを踏まえ、複雑であった利用制度を長期利用制度の見直し等により改善予定	● 試験的共用で出た課題を元に登録機関とともに検討	● 早期建設費確保のインセンティブ確保と運用期の持続可能性確保のため、今後利用料金の改訂を予定
ユーザーに対する情報提供		● ブックレット等利用者情報誌による事例紹介 ● 施設見学 ● WEBサイト ● オンライン化も含めた普及啓発イベント（WS、研修会、研究会、講習会等） ● スクール（夏の学校、秋の学校） ● SPring-8シンポジウム、産業利用	● WEBサイト ● QST国際シンポジウム ● 放射光学会年会・放射光科学合同シンポジウム ● ナノテラス一般見学会 ● 新聞シリーズ連載予定 ● QST記者懇談会 等	● コアリションカンファレンス(年2回) ● エンドステーション利用技術説明会 ● 放射光学会での会合 ● 宮城県、仙台市等でのトライアルユース ● 国際放射光施設フォーラム ● その他アウトリーチ（新聞、テレビ、YouTube、パンフレット、施設視察、WEBサイト、各種会合、市民講座等による発信）等